パーソナルコンピュータの購入について

１．購入時の注意点

どんなに高性能でも、大きくて重いものは持ち運びが辛く、持ち腐れになりがちです。毎日持ち歩くことをイメージしましょう。

新規に購入する際の目安として、価格帯ごとに注意点を示します。

【5 万円～10 万円】

- 動作にストレスを感じるが、普段遣いが可能なレベルがこの価格帯
- 「**Office 無モデル」でよい**(大学アカウントで利用できるため、以下同様)
- 重視するスペックは「**メモリ**」で **8GB 以上必須**(できれば 16GB で、4GB 以下は非実用的)
- Chromebook は 4GB からで軽快に動くが、ネットワークに接続しながら利用するので、**自宅でのネットワーク接続**がとても重要となる
- レポート作成にも使用する場合は、タブレット型よりもノート PC 推奨
- 歴史のあるメーカーを選び、各メーカーの直販サイトで購入するとよい（この価格帯の PC は、海外新興企業の製品で低品質の可能性が考えられるため）
- 中古で購入する場合は、Windows11 モデルでメモリ 8GB 以上を選ぶ

【10 万円～20 万円】

- Windows でメモリ 16GB のもの、または 2021 年以降の中古 MacBook
- その他、A4 サイズ、B5 サイズなどの小型版で重さ約 1.4kg 以下のものがお勧め
- CD/DVD ドライブは趣味がなければほぼ使用機会はなく重いだけ

＜参考 Web サイト＞

【価格.com】https://kakaku.com/pc/mobile-note/itemlist.aspx?pdf_Spec308=16
（kakaku.com の候補に現れるメーカーはどれも信頼できる）

- メーカーの直販サイトでは構成を変更することができるので、本体価格 4 万円～5 万円でメモリ 8GB のものを 16GB 以上に増設することも可能

【20 万円以上】

- 新品 MacBook だとこの価格帯から(高スペックモデルしかないのでどれを選んでも可)
- サイズや重さ、デザイン、色、記憶容量、DVD ドライブの有無等、自由に選んでよいが、できるだけ重量の軽いもので、メモリ 16GB 以上だと不満が発生しにくい

２．購入後の注意点

- 無料の Office ソフト（ワープロ、表計算、プレゼン等）として LibreOffice を推奨する。授業でも使用するため、LibreOffice を検索してインストールしておく。
- 大学ネットワーク接続に「VPN」が必要なのでガイダンス等で忘れず説明を聞く。
- Type-C から HDMI に変換するコネクタを買っておくとプレゼン機会が来たときに便利。